

- 問1 11世紀後半、白河天皇が位を譲って上皇（太上天皇）となった後も、宮中（院）において政治の実権を握った政治形態を何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|----------|---------|
| 1. 院政 | 2. 執権政治 | 3. 建武の新政 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|----------|---------|
- 問2 平安時代、藤原氏が天皇の幼少期には「摂政」、成人後には「関白」という職に就き、政治の実権を握った政治体制を何と呼びますか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 1. 摂関政治 | 2. 親政 | 3. 執権政治 | 4. 院政 |
|---------|-------|---------|-------|
- 問3 平安時代に国風文化が発展した歴史的背景と、その文化的な特徴について説明した文として最もふさわしいものはどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 武士が政治の実権を握ったことで、力強く素朴な文化が好まれ、猿楽や田楽などの芸能が民衆に広がった。 | 2. 大陸との公的な交流が途絶えたことで、日本独自の感性を重視する風潮が生まれ、仮名文字による文学が発達した。 | 3. 町人の経済力が向上したことで、浮世草子のような庶民の娯楽や日常生活を題材とした文化が全盛期を迎えた。 | 4. 禅宗の影響を受けて、華やかさを排除した質素で静かな美意識が貴族や武士の間で共有されるようになった。 |
|---|---|---|--|
- 問4 平安時代中期、社会への不安や「仏教の教えが正しく伝わらなくなる時期が来る」という末法思想が広まるなかで、阿弥陀如来にすがって「南無阿弥陀仏」と唱えることにより、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わることを願う信仰が流行しました。この信仰の名称として正しいものを、次の選択肢から選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 聖武天皇の時代に国家の平穏を祈って各地に建立された国分寺の信仰 | 2. 厳しい修行や座禅を通じて自らの力で悟りを開こうとする禅宗 | 3. 空海が中国から伝え、山の中での修行を重視した真言宗 | 4. 阿弥陀如来の力によって極楽浄土への往生を願う浄土信仰 |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
- 問5 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の貴族文化である国風文化が栄えました。この時期、藤原道長の娘である中宮彰子に仕え、貴族社会の人間模様を全54帖にわたって描いた長編小説の作者は誰ですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 清少納言 | 2. 紫式部 | 3. 小野小町 | 4. 和泉式部 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問6 10世紀から12世紀にかけて、武士が地方の勢力から国家の政治を動かす存在へと成長した過程を説明した次の記述のうち、最も古い時期に起きた出来事はどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 源義家が東北地方で起きた戦乱を平定し、東国の武士との結びつきを強めた。 | 2. 平将門が関東において反乱を起こし、自ら「新皇」と称して朝廷に抵抗した。 | 3. 平清盛が武士として初めて太政大臣に任命され、一族で朝廷の要職を独占した。 | 4. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉に武士独自の政権である幕府を開いた。 |
|--|--|---|--|
- 問7 平安時代初期に最澄が比叡山に延暦寺を建立し、新しい仏教を広めた背景にある、当時の仏教の傾向や特徴について述べた文として適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武士の精神的な支えとして、座禅によって悟りを開くことを重視する教えが主流となった。 | 2. 政治に深く関わりすぎた奈良の仏教から離れ、山の中で厳しい修行を行う山岳仏教としての性質を強めた。 | 3. 死後の極楽浄土を願い、念仏を唱えることで救われるという教えが一般民衆の間で急速に広まった。 | 4. 国家の保護を受けて奈良の寺院で学問に励むことを目的とし、政治との結びつきをより強めた。 |
|--|---|--|--|
- 問8 8世紀末の日本において、それまでの奈良の地にあった都から、現在の京都府にあたる地へ都を移し、律令政治の立て直しを図った人物は誰か。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 10世紀から11世紀頃の日本において、唐との交流が途絶えた後に発達した「国風文化」の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|
| 1. 遣唐使によってもたらされた大陸的な様式が、建築や仏像制作の主流となった。 | 2. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や枯山水の庭園といった簡素な美が好まれた。 | 3. かな文字が考案され、清少納言などの女性らによって随筆や物語が執筆された。 | 4. 武士の気風を反映し、軍記物語や力強い彫刻が数多く制作された。 |
|---|--|---|-----------------------------------|
- 問10 平安時代末期、平清盛は武士として初めて、朝廷における最高職である官職に任命されました。その官職名を次の中から選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|----------|---------|-------|
| 1. 執権 | 2. 征夷大將軍 | 3. 太政大臣 | 4. 関白 |
|-------|----------|---------|-------|
- 問11 平安時代後期の政治において、白河上皇が始めた「院政」の仕組みや目的について説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白を抑えて「院」と呼ばれる場所で自ら政治を行う仕組み。 | 2. 天皇が幼少の間に、母方の親戚である藤原氏が摂政となって政治を代行する仕組み。 | 3. 地方の有力な武士を朝廷に招き、武力によって貴族の不正を正そうとする政治の仕組み。 | 4. 天皇が仏教に深く帰依し、政治のすべてを僧侶に委ねて国の安定を図る仕組み。 |
|--|---|---|---|
- 問12 平安時代中期、藤原道長は自身の娘を次々と天皇の後（きさき）として送り込み、その娘が生んだ子が天皇に即位すると、自らは天皇の母方の親戚として政治の実権を握りました。このような立場を指す言葉と、道長やその子の頼通が行った政治体制の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|---------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1. 外戚（がいせき）の立場を利用した、摂関政治 | 2. 院（いん）の立場を利用した、院政 | 3. 執権（しっけん）の立場を利用した、合議制の政治 | 4. 將軍（しょうぐん）の立場を利用した、幕府政治 |
|--------------------------|---------------------|----------------------------|---------------------------|
- 問13 11世紀前半の藤原道長は、自身の娘を一条天皇や三条天皇などの后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、複数の天皇の祖父という立場を築きました。このように、藤原氏が権力を維持・拡大するために利用した「天皇の母方の親戚」という血縁関係を何といいいますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 院近臣 | 2. 門閥 | 3. 氏長者 | 4. 外戚 |
|--------|-------|--------|-------|